

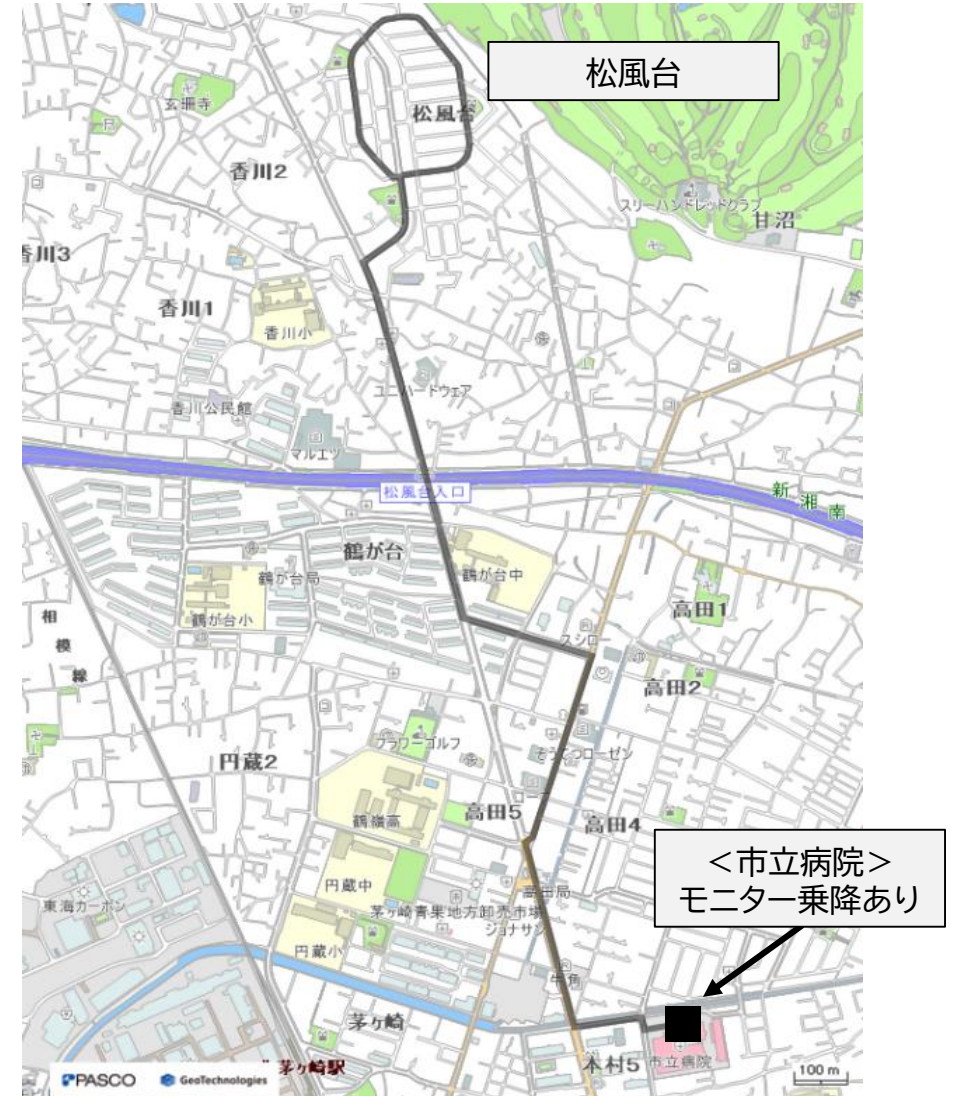
自動運転移動サービス実証実験について

1. 実施概要

【目的】

○ 自動運転移動サービスがコミュニティバスの運行を維持するための選択肢となるか検証することが目的

| | |
|----------|------------------------------|
| 使用車両 | MiCa(ミカ) |
| 最高速度 | 20km/h未満 |
| 運転自動化レベル | レベル2 |
| ルート | 茅ヶ崎市立病院～松風台:往復約5.4km |
| 期間 | 令和8年2月6日から2月26日まで (土日祝含む) |
| ダイヤ | 9時35分～16時35分の間に原則6便運行 |
| 乗車モニター | 事前予約制にて募集 1便あたり最大7名乗車可能 |
| 乗降場所 | 茅ヶ崎市立病院のみ |
| 運賃 | 無料 |



2. 結果

| | |
|-------------------|---|
| 運行便数 | 118便 ※2月7日4・5便、2月8日1～6便は降雪のため運休 ※2月18日2～6便はバッテリー残量不足のため運休(2月21日～25日を1便ずつ増便して運行) |
| 総走行距離 | 637.2km |
| 自動運転距離 | 626.45km |
| 手動運転距離 | 9.65km |
| 自動運転比率 (距離ベース) | 98.3% (目標値は97%) |
| 累計乗車人数 | 678人/882人 |
| 手動介入件数 | 102件 |
| 手動介入便数 | 71便 |
| 手動介入頻度 | 0.8件/5km |

3. まとめ

本事業における、一般運行期間中の自動運転比率は98.3%となり、インフラ連携なしでも、高い水準で自動運転による走行が可能であることを確認した。

一方で、次のとおり解決すべき主な事象が確認され、レベル4自動運転を社会実装し、公共交通機関として安定した運行をするためにはこれらを解決することが求められる結果となった。

【解決すべき主な事象1】

前方に停止している車両を検知して停車することはできたが、その車両が渋滞により一時的に停止している車両であるのか、路上駐車による車両であるのかを適切に識別できない事例が確認された。

【解決すべき主な事象2】

歩行者に横断意思がない場合や街路樹の揺れなどに対しても過剰に検知機能が働き、急ブレーキとして作動するため、公共交通として円滑な運行に課題が見られた。

【解決すべき主な事象3】

樹木の生育や様々な工事などによる走行環境の変化に対応するため、安定的な走行の確保には車両設定の継続的な調整が必要となり、維持管理コストの増加が懸念される。